



高山村立高山中学校

学校だよりNo. 3

令和3年8月30日



2学期がスタートしました

8月23日の月曜日に、2学期がスタートしました。23日には始業式が行われました。新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をしっかりと考えながらのスタートです。そのため、今回の始業式は、体育館に全校が集まらず、会議室から各教室へZoomで配信し、オンライン始業式を行いました。各学年の代表生徒と2学期の抱負の発表、そして校長先生のお話がありました。全校が集まることはできませんでしたが、全校がオンラインで繋がった映像を見ながら2学期への思いを共有し、良いスタートが切れたのではないかと思います。



保護者の皆さま、地域の皆さま方、2学期もご支援、ご鞭撻よろしくお願ひいたします。

☆ 2学期始業式 各学年代表生徒の発表より

「二学期の抱負」

1学年 代表生徒

私には一学期に達成できなかったことが二つあります。

一つ目は授業中の発言です。私はいつも「合っているかわからない」と思ってしまい、あまり自主的に発言することができませんでした。しかし、このままでは自分の思っていることや意見がいろんな人には伝わりません。そう考えたとき、「間違っていてもいいから発言して、自分の思っていることをみんなに伝えよう」と思いました。

漢字の問題や計算問題の答えは一つです。しかし、道徳の授業などの人の気持ちを考えることといった問題の答えはいくつもあります。必ずしも答えは一つではないということを忘れないようにしたいです。そして、その問題の正解や不正解をあまり気にしないで自主的に発言したいです。二学期は一学期よりも多く発言して、自分の思っていることをよりたくさんの人に伝えることができるようになりたいです。

二つ目は部活動です。私は卓球部に所属しています。一学期に行われた大会では、満足のいく結果を残すことができませんでした。夏季大会の団体戦では北信大会に進めず、個人戦は北信大会に出場したものの、一回戦敗退という結果に終わり、悔いの残る大会でした。秋の新人戦では、夏季大会よりも多く勝ちたいです。そのために、部活やクラブでの練習で一球一球集中してプレーし、限られた時間をむだにしないように練習に取り組みたいです。そして、練習の成果を発揮し、秋の新人戦では、悔いの残らないような試合をしたいです。

二学期はこの二つのことを意識して過ごし、達成したいです。また、新しいことに挑戦し、挑戦するからには最後までやり切りたいです。そして、二学期を振り返ったときに、「様々なことに挑戦、達成することで、新しい課題を見つけることができた。良い二学期だった」と思えるような学校生活を送りたいです。

「二学期の目標」

2学年 代表生徒

私の二学期の目標は三つあります。

一つ目は、テストの点数をあげることです。一学期はあまり勉強をせず、テストの点数が落ちてしまいました。なので、二学期は分からないところがあった時にはそのままにせず、自分でじっくり考えたり、友達に教えてもらったりして分からないところを減らしていきたいです。そして、家での学習も毎日少しずつ取り組んでいきたいです。

二つ目は、部活動です。一学期で先輩達が引退してしまい、次は二年生が一番上の立場になりました。これからは自分達が一年生を引っ張っていかなくてははいけません。三年生が私たちに教えてくれたことを私も一年生に伝えていけるようにしたいです。そして、秋には新人戦があります。新人戦では、今まで教えてもらったことややってきたことを発揮して、いつも通りに試合に臨みたいです。

三つ目は、委員会の活動です。私は文化委員で二学期には紅葉祭があります。文化委員としてどうすればクラスの合唱がよくなるのか自分なりに考え、呼びかけをしていきたいです。そして、今年の合唱は一年生のときよりも、迫力のあるものになるようにしたいです。

今の三つの目標を忘れずに二学期の生活を充実させていきたいです。

「2学期の抱負」

3学年 代表生徒

僕は受験生として、この2学期にやらなくてはいけないことがいくつかあります。

まず一つは学習です。一・二年生の時は、まだ大丈夫と考えていてまったく学習に力を入れていませんでした。三年生になってからは、このままではまずいと思い始めたのですが、集中力が続かず、なかなか取り組むことができませんでした。本当にこのままでは、自分の思い通り進路を実現することはできないので、家での生活から見直し、授業は全力で取り組んで行きたいと思います。クラスの皆さん一緒にがんばりましょう。それでもなお、集中できないときは、先生方よろしくお願いします。

次に提出物です。受験生として、期限を過ぎてしまっは許されない書類がいくつもあります。必ず家で確認をするようにして、提出していきたいです。また、各教科から出された課題は、確実に行き力を伸ばしていきたいです。一学期はやる気になれず、あまり出すことができませんでした。本当にこのままではいけないとようやく気づきました。今日からの二学期のスタートをきっかけに必ず変わってみせます。

最後に、残りの中学校生活を充実させるためにも、紅葉祭に全力で取り組みたいです。四月に担任の先生から、今年は全てのことが最後になりますというお話がありました。まだ、その実感はないのですが、今のクラスで取り組める最後の合唱、最後の体育祭に、悔いが残らないようにしていきたいです。クラスの楽しむところは楽しんで良い思い出をたくさん作りましょう。

2 学期始業式 新津朋典校長先生の話 「スポーツマンシップ」

本来なら、全校のみなさんを前に、直接お話したかったのですが、感染予防のためオンラインでの始業式となります。みなさんの元気な顔を直接見ることができず、残念に思います。

先ほどは、3名のみなさんに2学期に向けての決意を発表してもらいました。どの人も、2学期の学習や生活についてしっかりと目標が持てているなあ、と思いました。頑張っていけそうだなあと感じました。

さて、夏休み中、みなさんはどのように過ごしたでしょうか？

夏休み中は、新型コロナウイルスの急激な感染拡大や、季節外れの大雨が続き長野県内をはじめ全国各地で大きな被害が出てしまいました。何かと暗い話題が多かったのですが、この休み中に開催された東京オリンピックについては、選手の素晴らしい姿をたくさん見ることができ、見ていた私達もたくさんの元気をもらうことができたのではないのでしょうか。メダルをたくさん獲得した日本選手の活躍も輝かしいものがありました。日本のメダル獲得数は、史上最多とのこと。しかし中には思うような結果を残せなかった選手もたくさんいましたが、いずれの選手も自分の力を出し尽くし、悔いのない戦いをしてくれていたように思います。また、どの選手も、大会を開催し運営してくださった大会関係者や、また自分を今まで支えてくださった周囲の方々への感謝の気持ちを表していました。こういった感謝の気持ちを伝えることができ、さすがスポーツマンだなあ、と感じました。スポーツマンとしての、立派な姿がこの東京オリンピックではたくさん見られました。今日は、オリンピックで話題となった、スポーツマンとしての立派な姿、スポーツマンシップについて、紹介したいと思います。スポーツマンシップとは、競技には全力を尽くし戦いますが、結果についてはこだわらない。また、競技を終えた後は勝者も敗者もお互いの健闘を讃え合う姿だと思います。

1つ目は、陸上男子800M準決勝でのことです。ボツワナの選手とアメリカの選手が、競技の途中でもつれ合って地面に倒れ、競技から脱落することとなりました。しかし二人はお互いを怒るところか、助け合って立ち上がると抱き合いながら一緒にゴールまで歩いたのです。普通だったら、転んだときお互いをののしりあったり批判したりしてしまうことでしょうか。しかし、二人は怒りを表すことなく手を取り合い二人で一緒にゴールしたのです。転んでしまったことは残念だったのですが、二人はお互いの健闘を讃え合っています。

2つ目も陸上競技です。男子400Mリレーの日本チームの様子です。前回のリオデジャネイロ・オリンピックでは銀メダルをとったこともあり、この種目は大会前から日本中から注目されていました。選手達は、私達が想像もできないくらい大きなプレッシャーがかかっていたと思います。そのような中で、攻めのバトンパスを行い、ミスから無念の途中棄権となってしまいました。結果は残念なことになってしまいましたが、失敗したメンバーに対し、他のメンバーもまた周囲の人々も決して責めることはなかったそうです。全力尽くしての失敗、ということのを他のメンバーもまた周囲の人々も認め、結果にはこだわらない姿勢を貫いたのです。

スポーツマンシップに関して、2つのお話を紹介しました。もしも、みなさんが転倒した選手、リレーのメンバーや周囲の人だったらどう行動するでしょうか？考えてみてください。このことは1学期から私がみなさんにお話ししている「温かな人間関係」とも共通していると思います。2学期も、各学級、学年、そして部活動においてもお互いを大切にし合い、助け合ったり支え合ったりすることのできる「温かな人間関係」を大切にしながら学校生活を送って欲しいと思います。

今日から2学期が始まります。2学期は、35度を超すような暑い真夏から、見事な紅葉の中とても過ごしやすい秋、そして、雪が舞う寒い年の暮れまでの冬と、季節の移り変わりを感じながら毎日を過ごします。様々な活動に集中し、皆さん一人ひとりにとって「力」をつけることのできる学期でもあります。生徒会最大の行事である「紅葉祭」など、とても大変ですが、やりがいのある行事もあります。まさに「実りの学期」とも言えます。2学期も充実した「実りの学期」となりますよう、新型コロナウイルス感染予防に十分注意しながら頑張っていきましょう。

☆連絡

- ◇9月24日（金）25日（土）に第56回紅葉祭を計画しています。現在実施に向けて生徒は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の対策を取りながら様々なことを計画しています。先日保護者の皆様方と来賓の皆様方にはご連絡させていただきましたが、現時点では今年も来校者を制限させていただきながら実施する計画でおります。来校者は生徒の他に、2週間以内に県外への往来のない同居の家族、3名の来賓の方々（村長様・議長様・教育長様）、高山中学校職員にさせていただきます。卒業生や地域の皆さまにも本来ならばご来校いただき、高山中学校の生徒の姿をご覧いただきたいのですが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
- ◇8月28日（土）は、年間計画では資源物回収を計画しておりましたが。保護者の皆さまをはじめ地域の皆様方にも、高山中学校のために資源物を確保していただいていたかと思えます。しかし、先日ご連絡させていた通り中止とさせていただきます。急な中止連絡で大変申し訳ございませんでした。また、中止の連絡にあたり、PTAの役員の皆様や地域の役員の皆様には様々なところでご協力いただきました。感謝申し上げます。

☆タブレットを使った学習の様子



国語の「星の花が降るころに」という物語の学習で、文章を読み「私の心情（気持ち）はどのように変化しているか」という学習問題で、この日は「叙述をもとに私の心情をグラフにまとめよう」という課題に取り組みました。自分で書いたグラフを一人一人がタブレットで写真を撮りそれを教師のタブレットへ送り、みんなで共有し深めていくという学習をしています。



「地産地消についてデータを基に比較する。」という学習問題をグループで協力しながらタブレット使って調べ学習をしています。



〒382-0825 上高井郡高山村大字高井4575 高山村立高山中学校



TEL 026-245-0948 FAX 026-246-5007 URL <http://www.takayama-j.ed.jp>

E-mail info@takayama-j.ed.jp

(文責 竹前)